

医療従事者の負担軽減及び処遇の改善に資する計画に関する取組事項

社会医療法人石川記念会 H I T O 病院

当院では、医療従事者の負担軽減及び処遇改善のため、下記項目について取り組みを行っています。

医師・看護師等の専門職種が専門性を要する業務に専念できるよう、多職種による役割分担と効率的な業務運営を進め、働きやすい職場環境の実現に努めてまいります。

【病院勤務医】の負担軽減

1. 医師と他職種との役割分担（予診、静脈採血、入院・検査の説明、服薬指導を看護師・臨床検査技師・薬剤師等が実施）
2. 医師事務作業補助者の活用（診療録等の代行入力、AI・RPAの活用検討）
3. タスクシフト/シェアの推進（診療放射線技師・臨床工学技士・特定行為研修修了看護師の活用）
4. 連続当直の回避と勤務間インターバルの確保
5. 予定手術前日の当直・当直翌日の業務内容に対する配慮
6. 交替勤務制・複数主治医制の推進（診療科の特性に応じたチーム制の拡大）
7. 短時間勤務制度の活用と業務負担の集中防止（育児・介護短時間勤務、個人別の時間外・当直回数の確認）
8. 労働時間管理の適正化（研鑽の取扱いの明確化、副業・兼業先を含めた勤務時間の把握）

【看護職員】の負担軽減

1. 業務量の調整（部署別の時間外労働を毎月確認）
2. 他職種・看護補助者との協働の強化（多職種協同セルケアシステムによる連携推進）
3. 夜勤負担の軽減（夜勤従事者の増員、11時間以上の勤務間隔、夜勤の連続は2回まで）
4. 多様な勤務形態への対応（育児短時間勤務制度、短時間正社員制度の導入検討）
5. 妊娠・子育て・介護中の職員への配慮（院内保育所・夜間保育、夜勤の減免、休日勤務の制限、時間単位休暇等）
6. ICTを活用した業務の効率化（iPhoneを活用したセルケアシステム）

【医療従事者】の負担軽減

1. 院内保育所の充実（夜間保育の実施）
2. 看護補助者・医師事務作業補助者の配置による負担軽減
3. ICT等の活用による業務の効率化（スマートフォン貸与、生成AIの活用検討）
4. 部門間の業務量の調整（部門別の時間外・夜勤状況の把握、業務分担・人員配置の見直し）

2026年4月